

## 将来ビジョン—歴史を振り返ることから

山本 卓朗

NPO 法人シビル NPO 連携プラットフォーム 代表理事

長年にわたり国土計画や社会基盤の将来ビジョン作成に関わってきた有志の集まりで、かつての全国総合開発計画のような“国の将来ビジョン”が無いのは我が国くらいではないか、という話題に集中しました。社会資本整備や公共事業は“もういない”という議論が、対照的にその強化を進めている米国や EC そして台頭するアジアの諸国との経済競争を如何に阻害しているか痛感します。ではなぜこういう事態になっているか。政権交代などにその因を求める声もありますが、高度成長からバブル崩壊を経験した日本人の多くが物質的な豊かさよりも精神的な豊かさを求めるようになってきていることを合わせて考える必要があると感じます。曾野綾子さんは土木について造詣が深く、インフラ整備についても多くの理解を頂いていますが、氏の著作「人生の後半を一人で生きる言葉」の中で、「物質的に社会が豊かになったほどには、心が豊かにならなかった。それどころか、人間の誇りも家族の絆も失われて来たように見えるので、もしかすると物質的には慎ましい戦前と、貧しい戦後を知っていたということは、最も心豊かな時代を体験したことになるのだろうか、と思う時があるのである」と述べておられるのがとても印象的です。200年に及ぶ鎖国から目覚めた明治の初め頃の“維新で人情も希薄になり殺伐とした世の中になってしまった”と江戸時代を懐かしむ文を読んだことがあります。頻発する大災害や火事のなかで“木と紙の文化”を捨てざるを得なかった日本人には、“コンクリートから人へ”というキャッチフレーズに飛びつく DNA があるのかも。

とはいうものの国際社会は実に冷徹です。経済にせよ領土にせよ、力の均衡が崩れるとその国が危機にさらされることを世界の歴史が教えてくれています。これからも国際競争に不可欠なインフラ整備の重要性については粘り強く訴えていきたいと思えます。

一昨年土木学会が100周年を迎えた時、過去の100年の歴史を検証し、それを土台にして次なる100年ビジョンをまとめました。鉄道の歴史はさらに長く、間もなく150年を迎えます。将来ビジョンは漫然と考えていても知恵は浮かびません。過去の歴史や文化そして人の心の変遷まで自由に議論していくと何となく姿が見えてくると考えます。そして未来構想PFでは、将来ビジョンを構想する手法などをワークショップ形式で研修してきましたが、東京オリンピック以降を見据えて、鉄道交通の将来についてさらに議論を深め、具体的な構想づくりに努力したいと思えます。

## VOICE (会員の声)

## ジョギングの楽しみ

守山 亨  
佐藤工業 (株)

ワールドマラソンメジャーズ (WMM) の完走、そして完走証を手にする・・・という夢を追いかけながら、自分の体力と気力と相談しながらジョギングを楽しんでいます。ワールドマラソンメジャーズとは、2006年から始まったマラソンの最高峰シリーズです。当初はボストン、ロンドン、ベルリン、シカゴ、ニューヨークシティで構成されていましたが、2013年から東京マラソンも加わりました。各大会の上位者にポイントが付与され、五輪と世界選手権も加算対象とし、連続して2年間の成績で総合優勝者を決めます。一般ランナーが全大会を完走すれば名前やレース記録が入った完走証が有料で発行されます。もちろん、私は一般ランナーでの話であり、2015年に完走出来た東京マラソンがWMMに含まれていることを最近になって知り、6大会の1つを制した！と思ったところからWMMの完走の夢を追い始めました。

シューズと運動服があれば、自宅からすぐに初められる手軽さから50歳の手習いでジョギングを始めました。練習場所は、早朝の人の少ない時間帯に川沿いや皇居のお堀端をその日に走る距離に応じて選んでいます。ジョギングを始めた頃は膝が痛い、筋肉痛が残るなど様々な身体の悲鳴がありましたが、そのうち痛みが出ることは無くなり、身体が出来てきたかと自己満足していました。そして、ハーフマラソンに挑戦し約20kmを走ってみると完走はしましたが、結果のタイムは目標と大きくかけ離れており、改めて練習不足やフォーム、走るテクニック、ペース走行の重要性を思い知らされました。ここでジョギングとランニングの違いは走るスピードにあり、1kmを走るのに5分以内がランニング、越えるものはジョギングとなります。ランニングのスピードはかなり早く、マラソンを3時間半ほどで完走するレベルです。ランナーがよく使う表現を借りればサブ3.5です。負う歳に練習を重ねて、できればランニングでWMMを完走する夢を追いかけているわけです。(サブとはsubのことで・・・以下となります。)

ジョギングの楽しみは、汗をかき気持ちがかきスッキリすること(ストレスの解消)、継続していれば腹部がそれなりに締り体重が維持できること、出張先で観光をした気になること等が挙げられます(写真は夜明けのマリーナベイサンズ付近をジョギングした時にスマートフォンで撮影した景色です)。また市民ランナーが参加できるレースに出場してみると、レースを主催しコースの維持・給水などでレースを支える人達に深い感謝を覚え、沿道で応援してくれる人達から元気をもらい、そしてゴールを目指すランナー同士の声かけ、苦しいレース後半を乗り切り完走した達成感などが感じられます。一人でもジョギングは出来ますが、レースに参加してみると一人で走っている時とは違う集団で走ることによるペースの維持とレース後半の苦しい時に遅れないように頑張る気持ちになることが面白いと感じています。ジョ

ギングを見える化する情報端末が各種販売されています。スマートフォンと連携して走っている時のフォームを計測する眼鏡、ペースを計測する腕時計、そしてランニングのアプリを使っており、練習のモチベーションの維持、フォームの改善に役立っています。アプリがあれば自動的に練習の記録が残り、練習量の把握に繋がります。また土地勘の無い地域でも地図を持たずに迷子にならずジョギングができます。スマートフォンに表示されるGPSによる軌跡をみてインターネットへの接続の有無に関わらずスタート地点に戻って帰ることができます。

これからの目標はサブ4です。梅雨時期は雨で朝のジョギングを見送ることが多く、また夏場は早朝といえども日差しが強く長時間の練習は控えています。冬場の早朝はまだ暗いので小さな電灯を持って安全に気を付けています。マラソンシーズンへ向けて少しずつでも身体を動かしています。ジョギングの練習で歩行者を追い抜くときにはできるだけ離れたところを走り、道幅の狭いところですぐ脇を通過する時はスピード落として、また信号のある場所では交通規則を守りながら周りに注意することに気を付けていきます。ケガも病気の無いうちに少しでも目標に近づけるよう、日々の楽しみとしてこれからもジョギング続けていきたいと思っています。今回、文章を書く機会をいただきジョギングについて振り替えることが出来ました。ありがとうございました。



## NEWS

### ■最近の気になるニュース

#### ① 成田一都心、格安バス快走 (08.01)

成田空港と東京都心を1000円で結ぶ格安バスの乗客が増え続けている。2015年4月に成田空港で格安航空会社(LCC)専用の第3ターミナルが開業したのに伴って増加している格安志向の乗客を取り込み、訪日外国人にも浸透している。

#### ② 平均寿命 男女とも最高 (07.28)

女性87.05才、世界2位に。2015年の日本人の平均寿命は女性87.05才、男性80.79才で、い

ずれも過去最高を更新。がんや心臓病などの治療成績の向上が要因とみられる。国際比較では12年以來世界1位だった女性が香港に抜かれて2位に。

### ③ 2040年代の東京都市像 集約型地域構造に再編 (07.19)

東京都都市計画審議会の都市づくり調査特別委員会は、昨年9月に都知事から諮問された「2040年代の東京の都市像とその実現に向けた道筋について」に対する答申素案を提示した。従来の環状メガロポリス構造を最大限活用し、さらなる都市のゆとりと活力を生み出す都市構造へ進化させるため、新たな4つの地域区分と2つのゾーンに区分し、身近な暮らしを支え合う地域コミュニティを基盤とした「集約型地域構造」への再編を目指すよう求めている。

### ④ 上野駅・公園口周辺を再整備 動線円滑化へ改札移設 (07.14)

JR東日本と東京都、台東区は、JR上野駅・公園口周辺の再整備を計画している。今後、国内外からの観光客の増加が見込まれるため、公園口から上野公園までの歩行アクセスを改善するのが狙い。スムーズな動線を確保するため公園口改札を移設するほか、公園入口広場の整備や園路のロータリー化、駅前を走る区道の相互交通化などを予定している。「上野公園のメインエントランス」として、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年7月の全体完成を目指す。

### ⑤ その他

岩井有人さん（JR東日本東京工事事務所）のFacebook「今朝の気になる記事」より

- ・ 月面基地向けコンクリートの研究を始めた (08.10)
- ・ 東京メトロ、駅の停車時間を延長。4月に発生したベビーカートラブルを受け (08.05)
- ・ 在宅勤務を認める企業が目立ってきた。育児や介護と両立し易くするのが目的 (07.28)
- ・ ゲリラ豪雨予測へ新技術、京大や愛媛大学で (07.18)
- ・ 西洋美術館、世界遺産に (07.18)
- ・ 新幹線売り込みトップセールス、国交相が東南アジア訪問へ (07.16)

## ■計画・交通研究会が会報 2016-7 を発行

### ◇Opinion

- ・ 新時代の国外業務対応に向けた技術者を養成する

パンフィックコンサルタンツグループ（株）顧問 廣谷彰彦

### ◇特別座談会「熊本地震をどう読むか？」 聞き手・文責 茶木環（ライター）

千葉大学大学院 池邊このみ教授：政策研究大学院大学 家田仁教授

### ◇News Letters

- ・ 第7回通常総会のご報告
- ・ 平成28年度第1回イブニングセミナー

日本企業の海外展開と求められる「内なる開国」

～シンガポールでのITS事業を題材に～ 三菱重工（株）

### ◇Projects 北海道新幹線その1 文責：鳩山紀一郎（東京大学）取材：茶木環（ライター）

### ◇Column

私の読書体験 （社）未来のまち・交通・鉄道を構想するプラットフォーム会長 山本卓朗

## ◇Backyard

- ・平成 28 年度第 3 回イブニングセミナーのお知らせ (2016.09.28)

障害者の自立と社会参加を支える介助犬・補助犬

～人にも動物にも優しく楽しい社会を目指して～

社会福祉法人 日本介助犬協会 事務局長・医学博士 高柳友子

- ・平成 28 年度 秋の見学会のお知らせ (2016.10.06～07)

名古屋駅周辺スーパーターミナル構想、ニューブリッジ、新名神高速道路建設現場、

介助犬総合訓練センター (シンシアの丘) など

\*詳細は計画・交通研究会事務局にお尋ね下さい。 [jimukyoku@keikaku-kotsu.org](mailto:jimukyoku@keikaku-kotsu.org)

## ■シビルNPO連携プラットフォーム (CNC P) が会報第 28 号 を発行

- ◇巻頭言 「地方議会への政策支援を考える」

NPO法人 州都広島を実現する会 事務局長 野村吉春

- ◇コラム 「熊本地震 自分に、自分たちに、何ができるか」

CNC P 副代表理事 花村義久

- ◇トピックス 「熊本地震の被災地を訪れて」

CNC P 常務理事 有岡正樹

- ◇会員紹介 NPO法人 全国街道交流会議

- ◇部門活動紹介 地域活動推進部門

「インフラメンテナンス国民会議設置に向けた活動」

- ◇会員からの投稿 「パクス・アメリカナ後の世界の秩序と日本」

NPO法人 関西ミニウイングス 事務局長 山下正章

- ◇イベントのご案内

「練馬区におけるまちづくりの協働事例から学ぶ」

日時・場所 平成 28 年 8 月 30 日 13:00～16:00

場所 千代田プラトスクエア504 会議室

\*詳細はCNC P事務局にお尋ね下さい。 [info@npo-cncp.org](mailto:info@npo-cncp.org)

## 今月の国際比較データ

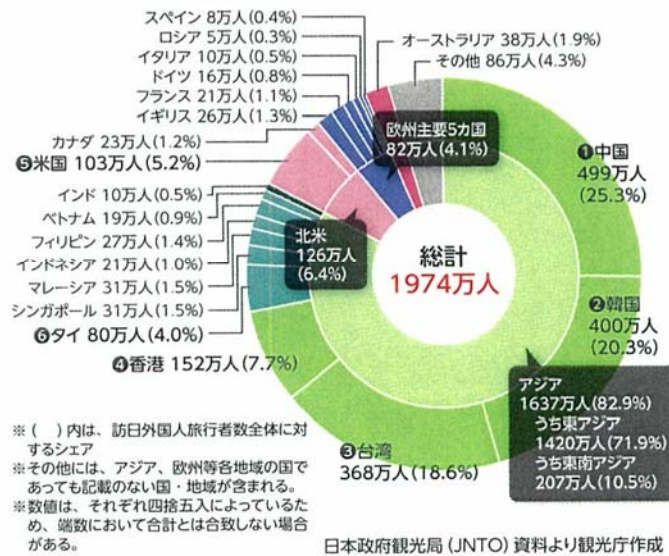
## ① 日本の新しい基幹産業を創出する政府一丸となった観光ビジョンを策定

出典：国土交通 No.136 (2016年6～7月号)

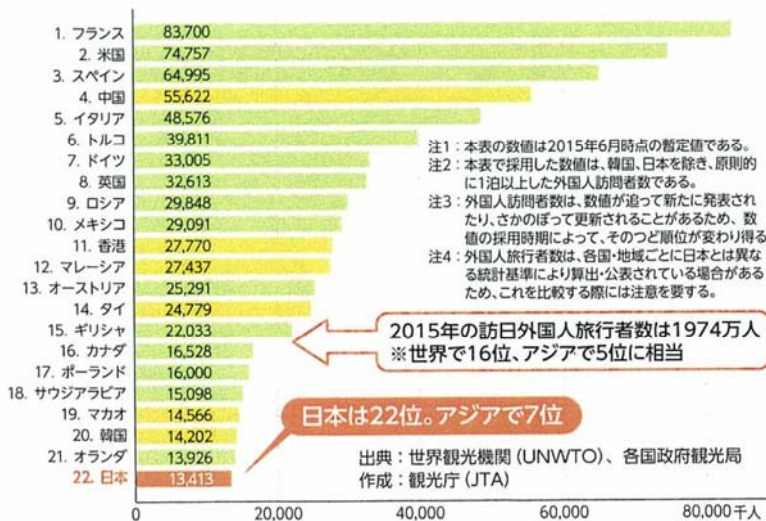
今、日本は少子高齢化、人口減少時代を迎えています。特に地方部の人口減少・高齢化の進展が顕著である点を踏まえ、わが国の社会、経済を維持・発展させるには地方の活性化が重要です。地方活性化には、当該地域で生産、雇用、消費が行われる地域に根付く産業の振興が不可欠です。その点で観光は、自然、気候、文化、食といった地方そのものを「売り」にした産業であり、観光客が訪れてその地域で消費する、まさに「地方の創生の切り札」ともいえます。



訪日外国人旅行者数及び割合 (2015年暫定値)



外国人旅行者受入数の国際比較 (2014年)



② アフリカ主要国の経済指標 (2015年~2017年)

出典: ジェトロセンサー (2016年7月号)

ジェトロが15年9~11月に実施した「在アフリカ進出日系企業実態調査 (15年度調査)」によれば、アフリカに進出した日系企業の過半 (55.6%) が「今後1~2年にかけて事業を拡大」すると回答。

アフリカのリスク要因として資源価格がよく取り上げられるが、経済成長の寄与度を項目別に見ると、実は個人消費が鉱業以上に貢献していることが分かる。内需がけん引するアフリカの経済成長は、投資が行われることで需要が生まれ、その結果輸入が増加して成長を支えるという構造であり、輸入が果たす役割が大きい。

表 アフリカ主要国の経済指標 (2015~17年)

国名	人口 (100万人)				名目 GDP (10億ドル)			実質 GDP 成長率 (%)			1人あたり GDP (ドル)		
	2016年	15年	16年	17年	15年	16年	17年	15年	16年	17年	15年	16年	17年
ナイジェリア	183.64	490.2	538.0	621.0	2.7	2.3	3.5	2,743	2,930	3,291			
南アフリカ共和国	55.83	313.0	266.2	273.7	1.3	0.6	1.2	5,695	4,768	4,826			
モロッコ	33.83	103.1	108.1	114.3	4.5	2.3	4.1	3,079	3,196	3,348			
アンゴラ	25.87	103.0	81.5	86.3	3.0	2.5	2.7	4,100	3,150	3,238			
エチオピア	91.20	61.6	67.4	74.1	10.2	4.5	7.0	687	739	800			
ケニア	45.48	61.4	64.7	69.1	5.6	6.0	6.1	1,388	1,422	1,477			
タンザニア	48.63	44.9	45.9	49.5	7.0	6.9	6.8	942	944	998			
コンゴ民主共和国	84.13	38.9	41.2	43.7	7.7	4.9	5.1	476	490	504			
ガーナ	27.57	36.0	38.2	40.9	3.5	4.5	7.7	1,340	1,384	1,447			
コートジボワール	24.33	31.2	34.7	38.5	8.6	8.5	8.0	1,315	1,425	1,542			
モザンビーク	28.75	15.0	12.5	12.5	6.3	6.0	6.8	535	435	423			
エジプト	90.20	330.8	n.a.	n.a.	4.2	3.3	4.3	3,740	n.a.	n.a.			

注：①推定値。②名目 GDP 値 (2016年) 順  
出所：IMF 「World Economic Outlook Database, April 2016」

## PF書店 ●紹介者 原典之 (三井住友海上火災保険 社長)

今回は、朝日新聞朝刊 2016. 07. 28 の広告特集R (読む) に掲載された、リーダーたちの本棚 87 からの抜粋です。

### ① ビジヨナリー・カンパニー「時代を超える生存の原則」

(日経BP社) ジム・コリンズ 著 山岡洋一 訳

時代を超え、際立った存在であり続ける源泉を探るベストセラー。競合企業との比較などから、従来の経営神話を看破。基本理念の大切さを説く。本書に「時を告げる預言者になるな。時計を作る設計者になれ」という言葉が出てくるが、経営者として肝に銘じておきたい。



### ② 渋沢栄一 100 の訓言「日本資本主義の父が教える黄金の知恵」

(日経ビジネス人文庫) 渋澤健 著

企業 500 社を起こした実業家 渋沢栄一。ドラッカーも影響された「日本資本主義の父」が残した知恵を、5 代目子孫が鮮やかに蘇らせた 100 の訓言集。「個人を利すると共に国家社会も利する事業なるや否や」「すべての世の中のことは、もうこれで満足だという時は、すなわち衰える時である」などの言葉が共感を呼び、英訳も添えてある。



### ③ 峠 「上・中・下巻」(新潮文庫) 司馬遼太郎 著

開明論者であり、封建制度の崩壊を見通しながら、長岡藩を率いて官軍と戦い、北越戦争に散った河井継之助。その精神の源と、波乱に満ちた生涯を追う。私は気に入った作家は全作を網羅したいタイプで、その一人が司馬遼太郎さんです。



事務局通信

～ ● 今月の写真コーナー ● ～



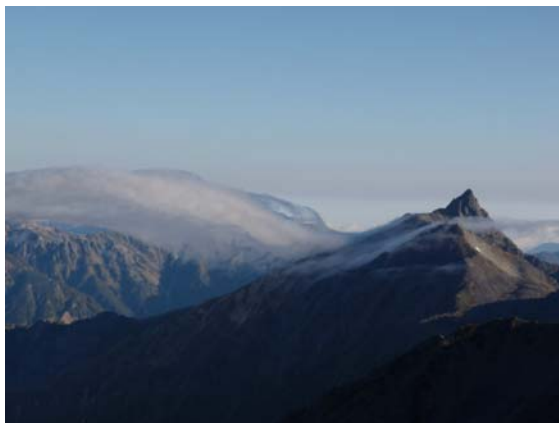
<コバイケソウと白馬鑓>



<畏敬のジャンダルム>



<モルゲンロートに輝く奥穂>



<雲海の流れに浮かぶ槍>



<日の出、南岳から>



<白馬大雪渓>

(提供：日本シビックコンサルタント(株) 元木 義隆)

プラットフォーム通信では、メンバーの皆様の投稿をお待ちしています。  
 連絡先：未来構想 PF 事務局 土井 携帯:090-9150-8613 メール：[info@miraikoso.or.jp](mailto:info@miraikoso.or.jp)  
 〒100-6005 東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビル 5F-28